

## 寄 稿 区 分

原稿区分	原 稿 内 容	原 稿 制 限	欧文要旨
論 文	著者の独創になる学術および技術の成果を記述したもの		200 語以内 (和文添付)
技術報告	鉄鋼の製造技術, 設備技術, 管理技術および鉄鋼の材料技術などの成果を記述したもの	表, 図, 写真を含め 26 枚 (400 字詰) 以内とする ただし, 依頼報告はこの限りでない	200 語以内 (和文添付)
研究速報	著者の独創的研究成果で, 発表期日の優先性を必要とするものであり, その理由を明確にした小論文	表, 図, 写真を含め 8 枚以内とする	200 語以内 (和文添付)
寄 書	著者の独創的研究成果のほか, 鉄鋼に関する学術または技術についての意見あるいは提案などを編集者に対する通信の形で述べる	表, 図, 写真を含め 4 枚以内とする 図, 写真は合わせて 2 枚以内とする	
誌上討論	会誌「鉄と鋼」に掲載された論文, 技術報告, 研究速報に対する修正意見, 例証, 反証などを記述する	表, 図, 写真を含め 3 枚以内とする	

## 執 筆 要 領

- 原稿投稿の際には, 本会所定の原稿表紙および原稿用紙 (横書き・25 字×16 桁=400 字・30 枚綴・定価@30 円・〒@35 円) を用いる。  
原稿の表紙には所定の事項を正確に記入し, 原稿は左横書きとする。
- 「寄稿区分」に示す原稿のページ制限を厳守すること。ただし英文, 和文要旨は原稿枚数に入れない。  
会誌の刷り上り 1 ページは原稿用紙 5・5 枚にあたる。
- 文章は平易な口語体を用い, 漢字は特殊な専門用語のほかは当用漢字を用い, かなは新かなづかい (第 4 表例参照) による。  
周知でない術語や装置などについてはわかりやすく説明する。
- 文章を読みやすくするため, 句読点 (,) および終止点 (.) を適当につける。
- 章, 節, 項, 小見出の記号は原則として下記の要領にしたがって表記する。

章	1	2	3
節	1.1	1.2	1.3
項	1.1.1	1.1.2	1.1.3
小見出	(1)	(2)	(3)
- 単位は原則として CGS 単位系を用いるが, 電磁気量の場合には, MKS 単位系を用いてよい。  
単位の略記号は第 1 表の例に従う。周知でない単位には略記号を用いない。
- 外国語の固有名詞および訳語が確定していない外国語の術語は原則として原語で書くが, 周知のものはカタカナ書とする。  
なお必要な場合は原語を書き添える。  
元素名, 合金名, 化合物名はできるだけ化学記号によつて示すが, 周知の合金名, 化合物名は化学記号表示を行なう必要はない。(第 2 表参照)
- 英字, 数字, ギリシア文字, 上ツキおよび下ツキ添字はていねいに記し, 混同しやすい文字はとくに注意して書く。英文の大文字, 小文字, ギリシア文字で混同しやすい文字にはとくに赤字でⒶ, Ⓑ, Ⓒなどと傍記する。ゴシック, イタリックを指定するときには, その文字の下にそれぞれ——, ~~~~を付ける。

- 9) 数式は印刷に便利のように注意し、 $b/a$ 、 $(a+b)/c$  のように不明確にならない程度になるべく少ない行数で表わす。
- 10) 表は本文中に挿入すること。1つの表の大きさは、会誌1ページの面積を考慮し、横の刷り上り寸法 6.7cm または14cm、縦の刷り上り寸法 18cm 以内におさまるようにする。
- 11) 図・写真・表の説明は英文とし(技術資料、講義、講演、解説はこの限りでない)、日本語を解さない外国人にも図・写真・表の意味が理解できる程度に書く。  
写真にはかならず倍率を記入する。
- 12) 図および写真は、横の刷り上り寸法が下記のいずれかの寸法となるように、刷り上り寸法の 2~3 倍大とし、下記の縮尺記号を記入する。  
(イ) 横 6.7cm (縮尺A)                      (ロ) 横 14cm (縮尺B)  
縦の刷り上り寸法は 18cm 以内とする。  
図・写真の字数換算は刷り上り寸法縦 7cm の場合、縮尺Aは 500 字に相当し、縮尺Bは 1000 字に相当する。  
図は白紙、オイルペーパーまたは青色方眼紙を用いて書き、図および図中の文字は縮尺を考慮して十分な大きさおよび間隔をもつて正確に書く。
- 13) 図および写真は散逸を防ぐため、原稿用紙または適当な大きさの台紙に貼付し、右下隅に著者名を記入する。  
図・写真は原稿本文中に挿入せず別紙とし、原稿中には右欄外にその挿入箇所を記入する。
- 14) 参考文献は、通し番号を付け、本文の最後に一括して番号順に示し、本文中における文献引用箇所にはその文献の番号を上ツキ小数字<sup>1)</sup>で示す。  
参考文献は 著者名: 雑誌名, 巻数(発行年)号数, ページ数の順に記載する。  
(例) R. K. GLASS: Blast Furn. Steel Pl., 46 (1958) 2, p. 198~204 雑誌名は第3表の略記例に従う。  
単行書は 著者名: 書名, (発行年), ページ数, [出版社名] の順に記載する。
- 15) 掲載原稿については別刷 20 部を贈呈, 20 部を超え別刷を希望するときは超過分を所定の料金を作製する。